

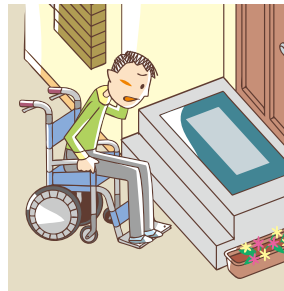
身体に不自由のある人のこと(肢体不自由)を知ろう

事故による損傷や生まれつきの病気などが原因で、手や腕(上肢)、足(下肢)に欠損やまひ、筋力低下などが生じ、日常の動作や姿勢の維持が不自由になる障がいです。

こんなことに困っています…



● 車いすを使用している人は、高い所には手が届きにくく、床にあるものは拾いにくいです。



● 下肢に障がいのある人中には、段差や階段、手動ドアなどがあると、一人では進めない人や歩行が不安定で転倒しやすい人もいます。



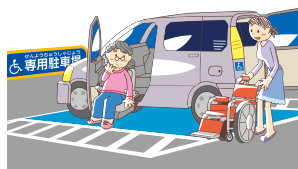
● 「まひ」がある人などは、文字を記入することが難しかったり、電車やバスなどで体のバランスを崩しやすいことがあります。



● 障がい者専用駐車スペースやバリアフリートイレが空いていないため、その設備を本当に必要としている人が利用できないことがあります。

わたしたちができることは？

◆ 障がいのない人は、障がい者専用駐車スペースやバリアフリートイレを使用しないようにしましょう。



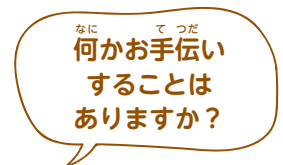
◆ いきなり車いす等に触ったり、押し始めるのではなく、車いす等を利用する人に、どのような支援が必要か確認しましょう。



◆ 「分かりやすく、ていねいに努めること」がコミュニケーションの基本姿勢として必要です。聞き取りにくい時は分かったふりをせず、一語一語確認しましょう。

◆ 困っている様子であれば、「何かお手伝いすることはありますか」などと声をかけましょう。

● 車いすを利用している人と話をするときは、少しがんで視線を合わせることで会話がしやすくなります。



◆ 肢体不自由のある人は、移動、読み書き、会話などに時間を要することがあるので、時間に余裕を持って見守ってください。

◆ 話をするときは、介助者ではなく、必ず本人に向かって対応してください。

